

人とかかわりを大切に

香我美小学校 1/2成人式

1月21日(水)香我美小学校4年生が1/2成人式を行いました。4年生は成人式の半分、10歳を迎えるお祝いと4月から高学年になるという自覚をうながすために参観日に合わせて行われています。

「サッカー選手になる」「やさしい大人になりたい」などと10歳の決意を力強いまなざしで、1人ずつ発表しました。参加した保護者の中には、家族へのお礼の手紙を読んでもらい、わが子の成長に思わず涙を浮かべる姿もありました。



心を一筋の矢に込めて

夜須八幡宮 百手祭

1月22日・23日の両日、夜須町西山の夜須八幡宮で県内の三大弓行事とされる「百手祭」が行われました。この行事は、12人の射手が2組に分かれ交互に約28m離れた的めがけて、五穀豊穰・無病息災の願いを込めた矢を放ち奉納するものです。

今年初めて参加した高橋大地さんは「最初は、的になかなか当たらなかったけど、先輩たちに教わった動作や、心構えを理解していくうちに的に当たるようになりました」と満足そうでした。

僕^{たこ}の凧が一番だぞっ！

三世代交流凧揚げ大会



1月11日(日)野市ふれあい広場で世代間の交流を深めることを目的とした三世代交流凧揚げ大会が開催されました。今年の干支「^{えと}丑」の描かれた凧を揚げる家族もあり「手作り凧審査会」では凧が弱く苦心していました。優れた作品には各部門別に、トロフィーが手渡されていました。

また、賞品がもらえる券を降らす「トバシ」も行われ、大人も子ども一緒になって、大きな凧をグラウンドいっぱい追いかけ、走り回っていました。

煙をあびて無病息災

どんど焼き



1月18日(日)香我美町岸本地区と西川地区で、門松や竹、しめなわなどを燃やす行事「どんど焼き」が行われました。

あいにくの雨となりましたが、西川地区ではグラウンドに正月飾りやお札^{ふだ}を持ち寄り、地区内外の参加者約50人と一緒に燃やしました。この煙をあびると一年が無病息災だといわれています。参加者は煙をあび、「どん！どん!!」と竹がはじける音を聞きながら、用意されたツガニ汁やおしるこに舌鼓を打っていました。

決意を新たに地域を守る！

香南市消防出初め式

1月11日(日)市内消防団や女性防火クラブ、赤岡町少年防災クラブが勢ぞろいし、夜須運動広場で出初め式が行われました。

今年は1月4日にインドネシアで発生した地震による津波注意報が、太平洋沿岸に発令されたばかり。各消防組織への住民の期待が高まっています。

参加した約300人の行進と迅速な消防機械点検に、新たな気持ちで防災に臨む地元団員の力強い姿がみられました。



楽しいイベントがいっぱい♪

2009香我美町文化祭

1月10日・11日の両日、香我美市民館で文化作品の展示などを行う「香我美町文化祭」が開催されました。

今年も将棋大会や月見山こどもの森の木工体験、バザーやうまいものなど多彩な出店がありました。中でも今回初めて行われた「炭焼き作品づくり」が人気。水野富美子さんを講師に迎え、アルミ缶など身近なものを使って、松ぼっくりやいがぐりなどがすてきなインテリアにもなる炭作りを楽しんでいました。



文楽の世界へようこそ

文楽弁天座公演



12月21日(日)赤岡町弁天座で大阪の吉田玉翔さん(土佐清水市出身)ら文楽のメンバーが公演し、この日のためにアレンジした「^{さんば}弁天三番叟」などで観客約500人を魅了しました。文楽は人形浄瑠璃芝居の通称で、人間国宝の故・吉田玉男氏の弟子・玉翔さんがそのすばらしさを多くの人に伝えたいと、文楽人形の動かし方を分かりやすく説明する一幕に、客席から実際に挑戦する場面も。終演後、初めてという観客からは「もう、すっかり文楽ファンです」との声が聞かれました。

おいしいお餅^{もち}をぺったん！

弁天座新春餅つき



1月4日(日)赤岡町弁天座で、日ごろお世話になっている人に新年の祝い餅を振る舞う「餅つき」が行われました。

「何か新春のイベントをやりたい！」と企画された今年は、夏に行われた「土佐佐金歌舞伎」の映像を館内で流したり、公家の衣装で餅をつくパフォーマンスを行ったりと参加者を喜ばせていました。つきあがった餅は弁天座の近所や来場したお客さんに「今年も弁天座で楽しんでください」と配られました。